

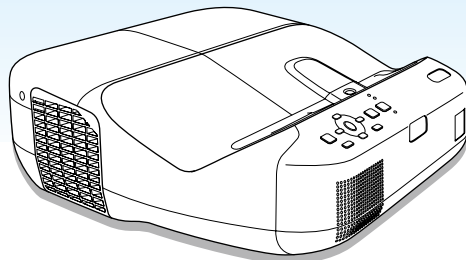
Offirio
オフリオ プロジェクター

EB-485WT/EB-485W/EB-480T/EB-480

かんたん操作ガイド

本書では、以下を説明しています。

- 本機を使い始めるまでの準備
- 投写して映像を補正するまでの基本操作
- Easy Interactive Function の概要



目次

同梱品を確認する	2
本機を設置する	2
本製品のマニュアルについて	3
コンピューターと接続して投写する	4
映像を補正する	6
さまざまな機器と接続する	8
Easy Interactive Function (EB-485WT/480T のみ)	9
インジケータの見方	16

本機を壁掛け・天吊り設置するための工事が済んでいるときは、
設置や映像の補正まで完了している場合があります。

インフォメーションセンター
050-3155-7010

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

サービスコールセンター
050-3155-8600

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

エプソンのホームページ
<http://www.epson.jp>

製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
【受付時間】月～金曜日 9:00～20:00 土曜日 10:00～17:00
(祝日、弊社指定日を除く)

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30 (祝日、弊社指定日を除く)

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を
満載したエプソンのホームページです。



同梱品を確認する

プロジェクター本体



フット (スペーサー付き 1 本、
スペーサーなし 2 本)



リモコン



電源コード
(日本国内専用) 約 4.5m



単 3 型マンガン電池
(リモコン用)



- ・お客様情報
+ 正式保証書発行カード
- ・返信用封筒



EPSON Projector Software



[収録ソフトウェア]

EasyMP Network
Projection

Document CD-ROM



[収録マニュアル]

取扱説明書など
各種マニュアル

パスワード
プロテクトシール



EB-485WT/480T のみ

Easy Interactive Pen
(2 本)



単 3 型マンガン電池
(Easy Interactive Pen 用)



ペントレイ



USB ケーブル
約 5m



EPSON Projector Software
for Easy Interactive Function



[収録ソフトウェア]

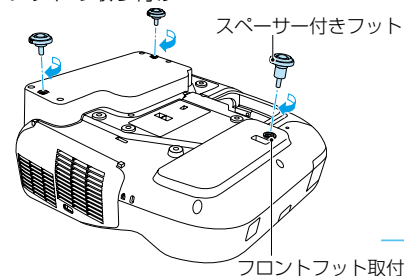
Easy Interactive Tools Ver.2
Easy Interactive Driver Ver.2

本機を設置する

机などに置いて投写する場合は、フットを取り付けます。スペーサー付きフットはフロントフット取付け部に取り付けます。

壁掛け・天吊り・縦置き設置する場合は、専用の取付金具が必要です。設置方法については、各取付金具の説明書をご確認ください。

フットの取り付け



本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。

冊子(紙)の マニュアル



『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』



本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。お使いいただく前に必ずご覧ください。

『かんたん操作ガイド』(本書)



本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を記載しています。Easy Interactive Function の概要も説明しています。

より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

CD 収納の マニュアル



『取扱説明書』(PDF)

本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

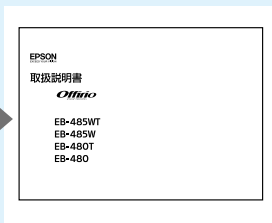
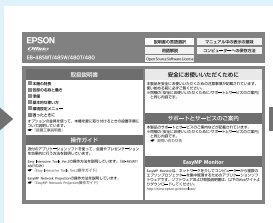
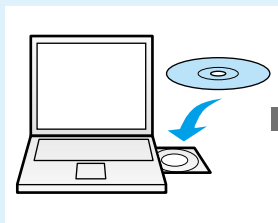
『EasyMP Network Projection 操作ガイド』(PDF)

EasyMP Network Projection の使い方を記載しています。ネットワーク経由でコンピューターの画面を本機から投写できます。

『Easy Interactive Tools Ver.2 操作ガイド』(PDF)

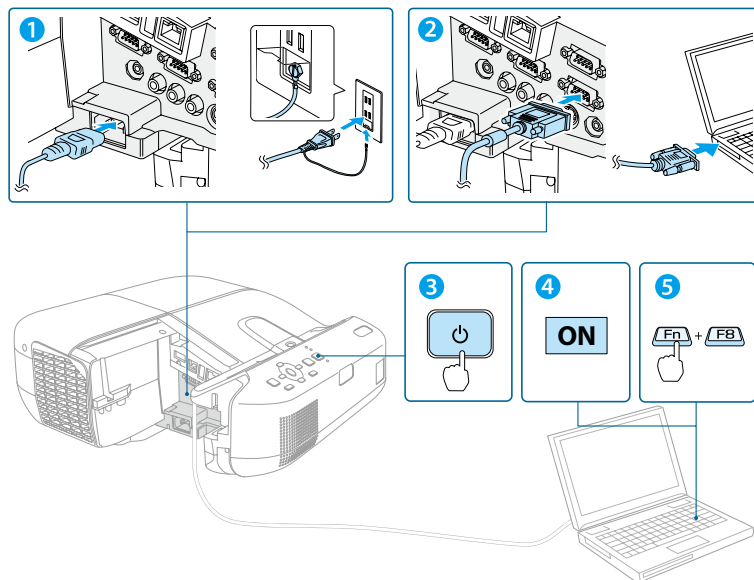
Easy Interactive Tools Ver.2 の使い方を記載しています。本機から投写したコンピューター映像上に文字や絵などを描画できます。


Document CD-ROM 内のマニュアルの見方




PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

コンピューターと接続して投写する



- 1 本機とコンセントを電源コードで接続します。
- 2 コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子を市販のコンピューターケーブルで接続します。
- 3 操作パネルの電源ボタン【】を押して、本機の電源を入れます。
- 4 コンピューターの電源を入れます。
- 5 コンピューターの画面出力先を切り替えます。

コンピューターのFnキー（ファンクションキー）を押したまま、キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。

出力切り替えの例			
EPSON	Fn + F8	Acer	Fn + F5
NEC	Fn + F3	Lenovo/IBM	Fn + F7
Panasonic		SONY	
HP	Fn + F4	DELL	Fn + F8
TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10

詳細は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

USB ケーブルで投写するときは（USB ディスプレイ）

EB-485W/480 をお使いの場合は、手順 1 ~ 2 は不要です。手順 3 からお読みください。

- 1 本機で投写中に、操作パネルの【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを表示します。
- 2 [拡張設定] の [USB Type B] を [USB Display/Easy Interactive Function] または [ワイヤレスマウス /USB Display] に設定します。
後述の Easy Interactive Function でも USB ケーブルを使うときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。
- 3 USB ケーブルで、コンピューターの USB 端子と本機の USB-B 端子を接続します。
- 4 初めて接続したときは、自動的にドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従いインストールが完了したら、映像が投写されます。

USB ケーブルで接続すると、コンピューター画面の投写と同時に音声も再生できます。



警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。
- 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 投写レンズ付近にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。投写光が集束するため高温になり危険です。

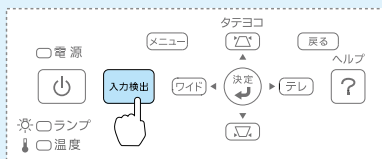


注意


本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

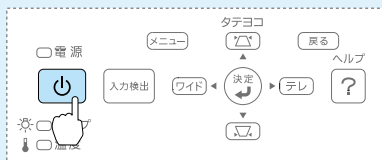
? 映像が投写されないときは

操作パネルの【入力検出】ボタンを押します。



? 電源をオフにするには

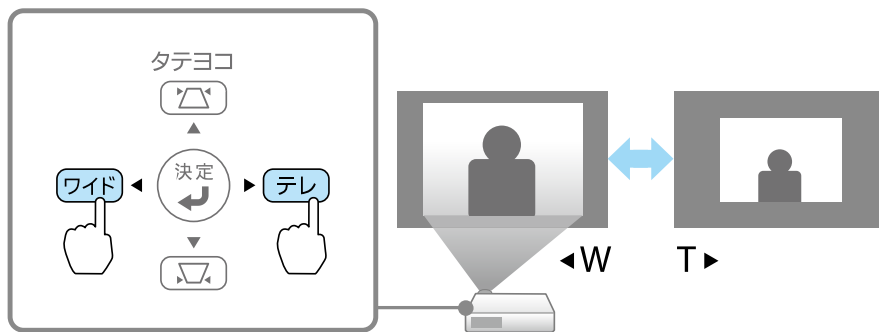
電源ボタン【】を2回押します。



映像を補正する

? 映像のサイズを変えたいときは

【ワイド】【テレ】ボタンで映像サイズを調整します。

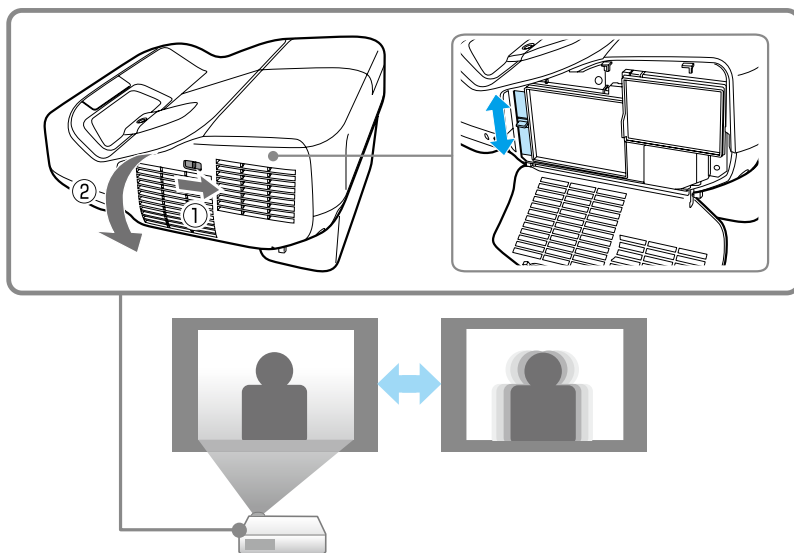


映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧ください。

? 映像がぼやけるときは

フォーカスレバーでピントを調整します。

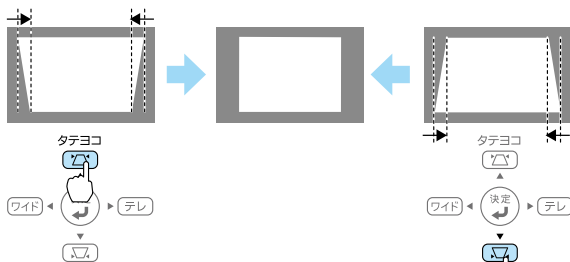


? 映像が台形にゆがむときは

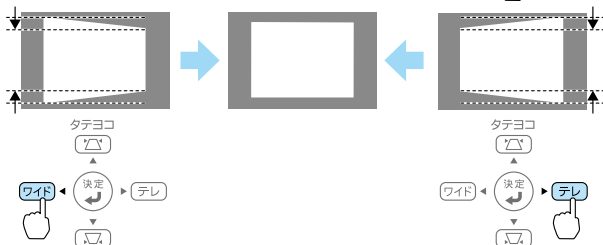
台形補正画面を表示して、タテ方向・ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。台形補正画面は、操作パネルの【△】または【▽】ボタンを押すと表示されます。



タテ補正は
【△】【▽】
ボタンを押します。

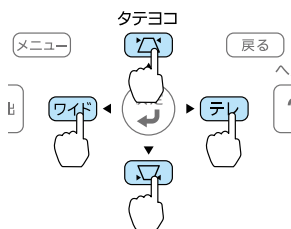
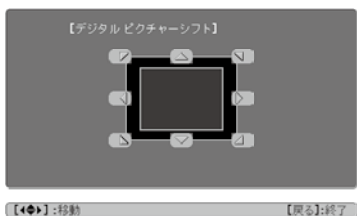


ヨコ補正は
【ワイド】【テレ】
ボタンを押します。



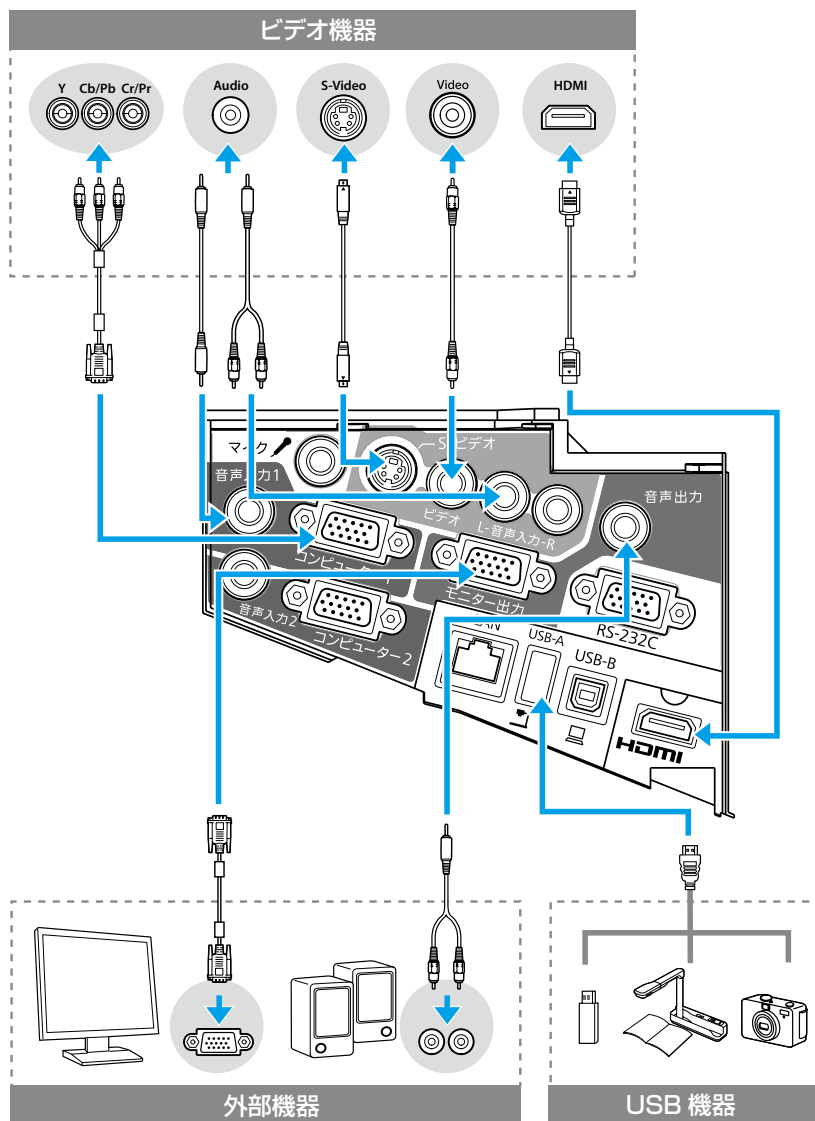
? 映像の位置を調整するには

ズーム調整または台形補正後に、デジタルピクチャーシフト調整画面が表示され、投写位置を調整できます。



さまざまな機器と接続する

DVD プレイヤーや VHS ビデオなどの映像機器、USB メモリーや書画カメラなどの USB 機器からの映像を投写するときは、下図のように接続します。



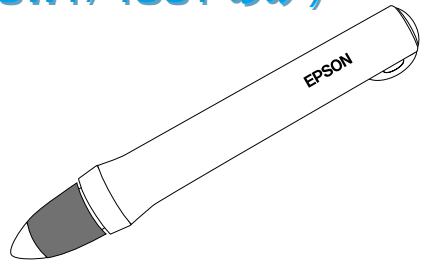
注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

Easy Interactive Function (EB-485WT/480T のみ)

Easy Interactive Function では、Easy Interactive Pen を使って以下のことができます。

- プロジェクター内蔵の機能で投写画面に描画する
- コンピューターと接続して、投写画面でマウス操作や描画を行う（マウス操作）

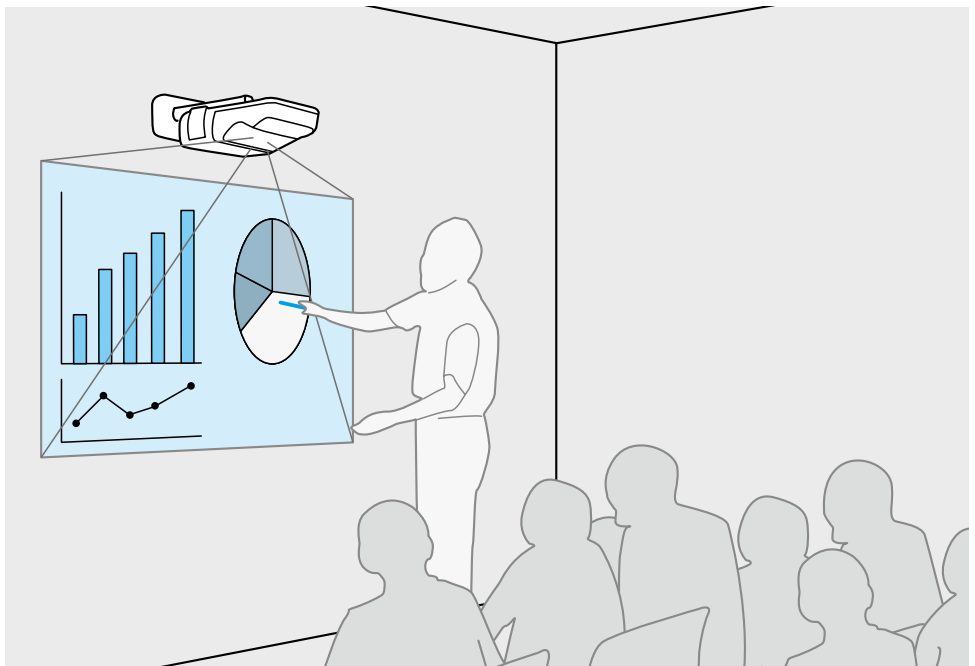


Easy Interactive Pen を使い始める前に、ペン位置合わせが必要です。

目次

Easy Interactive Pen の使い方	10
ペン位置合わせ（自動ペン位置合わせ）	11
手動ペン位置合わせ	12
プロジェクター内蔵の描画機能を使う	14
コンピューター側の機能を使う（マウス操作）	15

壁掛け設置の場合



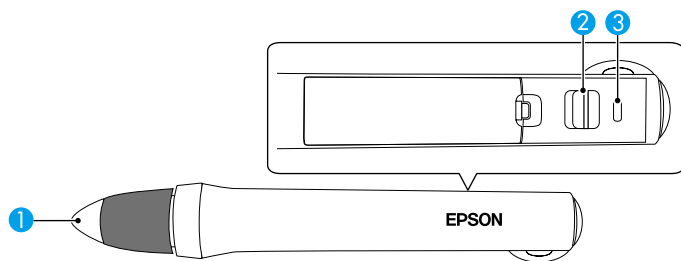
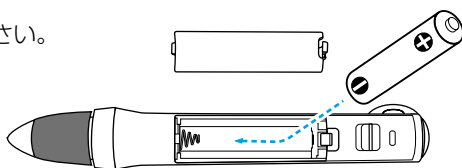
Easy Interactive Pen の使い方

Easy Interactive Pen は 2 種類あり、ペン後方部の色が異なります。ペン後方部が同じ色の Easy Interactive Pen は同時に使えません。

お使いになる前に電池（1 本）をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- ・単 3 形マンガン乾電池
- ・単 3 形アルカリマンガン乾電池
- ・SANYO eneloop® ※（HR-3UTG/HR-3UTGA）
※ eneloop® は三洋電機株式会社の登録商標です。



① ペン先ボタン

- ・画面上の項目を選択するには、ペン先ボタンを押し当てます。
- ・描画するには、ペン先ボタンを押し当てて動かします。
- ・ポインターを移動するには、ペンを投写面から浮かせた状態で動かします。

② スライドスイッチ

Easy Interactive Pen の電源をオン / オフします。
オンにした後、Easy Interactive Pen を使用できるまで数秒かかります。

③ バッテリーインジケーター

電源をオンにすると、インジケーターで電池残量がわかります。

- ・数秒間点灯：電池残量は十分です。
- ・数秒間点滅：電池残量が少なくなってきています。
- ・点灯しない：電池残量がありません。電池を交換してください。

参考

Easy Interactive Pen のペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。Easy Interactive Pen が動作しないことがあります。

ペン位置合わせ（自動ペン位置合わせ）

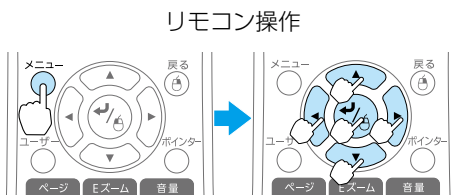
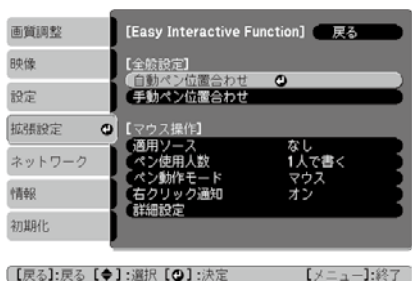
以下のとき、ペン位置合わせを行います。

- Easy Interactive Pen を初めて使用するとき
- 投写映像の補正やプロジェクターの移動などでペン位置がずれてしまったとき

参考

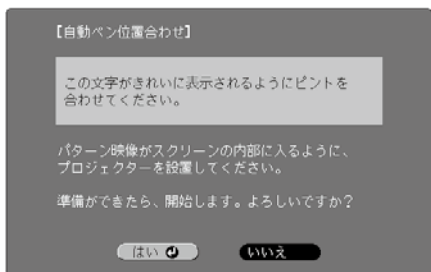
初期設定では、リモコンの【ユーザー】ボタンで自動ペン位置合わせを実行できます。

- 1 環境設定メニューの [拡張設定] で [Easy Interactive Function] を [自動ペン位置合わせ] に設定します。



- 2 表示されるメッセージに従い、ピントを調整します。

- 3 [はい] を選択します。



- 4 パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。

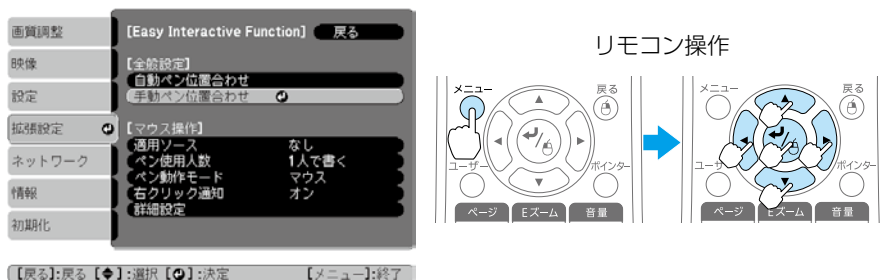
完了するまで、しばらく時間がかかります。
パターン映像の投写中は、投写光の中に入らないようにしてください。

自動ペン位置合わせに失敗したときは、手動ペン位置合わせを行ってください。

手動ペン位置合わせ

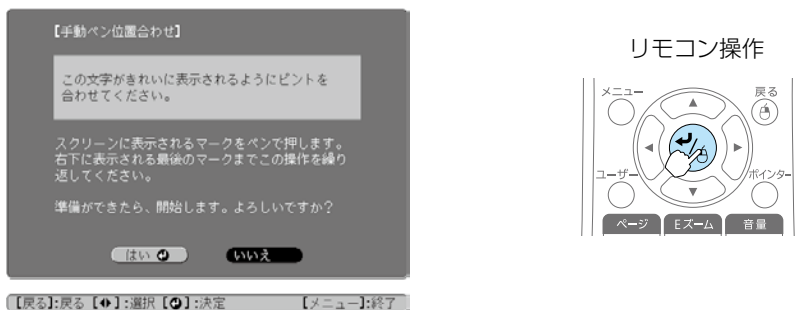
ペン位置合わせを手動で行います。

- 1 環境設定メニューの [拡張設定] で [Easy Interactive Function] を [手動ペン位置合わせ] に設定します。



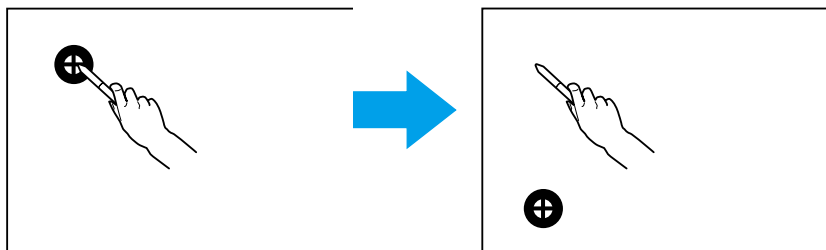
- 2 表示されるメッセージに従い、ピントを調整します。

- 3 [はい] を選択します。



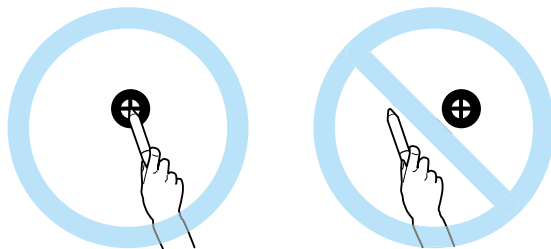
- 4 投写面の左上にドットが表示されます。

ドットの中心を Easy Interactive Pen のペン先で押すと、ドットが消えて次の位置に移動します。



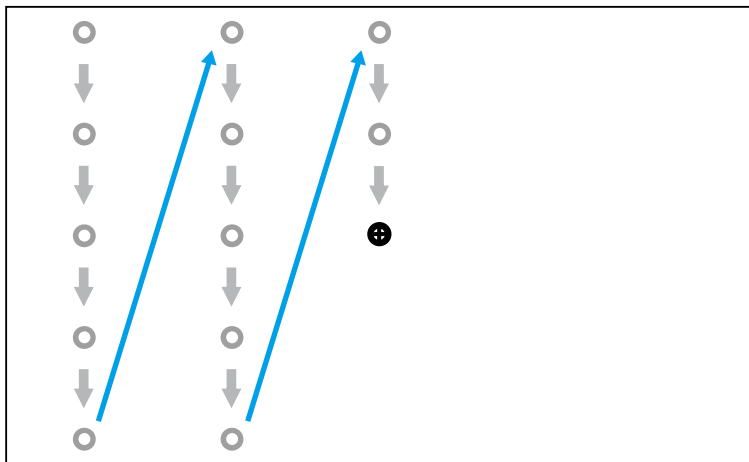
参考

必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



5 ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。

すべてのドットが消えるまで、手順 **4** を繰り返します。



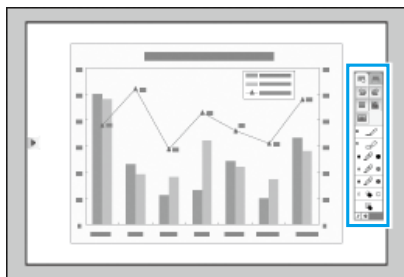
参考

- ・ 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して 1 つ前のドットに戻ります。2 つ以上前のドットには戻れません。
- ・ 中止するときは、【戻る】ボタンを長押しします。
- ・ すべてのドットが消えた後、ペン位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

プロジェクター側の描画機能を使う

描画用のアプリケーションソフトを使わなくても、プロジェクター内蔵の描画機能で投写画面上に文字や図形を描画できます。描画はすべての映像ソースで可能です。

- 1 プロジェクターの電源を入れます。
- 2 投写画面に Easy Interactive Pen を近づけると、画面の左右にツールバータブ【◀▶】が表示されます。
- 3 ツールバータブ【◀▶】をクリックすると、ツールバーが表示されます。



ツールバーが表示されたら、Easy Interactive Pen を使って投写画面に書き込みができます。

☞『取扱説明書』

参考

以下の2つの条件を満たしているとき、プロジェクター内蔵の描画機能は使用できません。

- 環境設定メニューの [拡張設定] - [USB Type B] が [Easy Interactive Function] または [USB Display/Easy Interactive Function] に設定されている
- 環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [適用ソース] で設定されているソースから映像を投写している

コンピューター側の機能を使う（マウス操作）

コンピューターと接続してコンピューター側の描画機能を利用すると、Easy Interactive Pen を使って投写画面上でマウス操作したり、2人同時に描画したりできます。

- 1 プロジェクターとコンピューターを、投写用のケーブル（コンピューターケーブルや HDMI ケーブルなど）と USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルは Easy Interactive Function のマウス操作に必要です。

- 2 コンピューターの電源を入れて、コンピューター側の描画機能を準備します。

参考

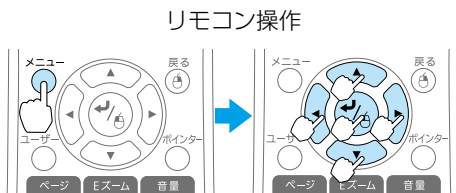
- ・本製品には、描画アプリケーションソフトとして Easy Interactive Tools が同梱されています。詳細については Document CD-ROM に収録の『Easy Interactive Tools Ver.2 操作ガイド』を参照してください。
- ・Mac OS X の場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があります。詳細については『取扱説明書』を参照してください。

- 3 プロジェクターの電源を入れます。

- 4 環境設定メニューで、[拡張設定] - [USB Type B] を [Easy Interactive Function] に設定します。

USB ケーブルで投写しているときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定してください。

☞ 「USB ケーブルで投写するときは（USB ディスプレイ）」 p.5




- 5 環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [適用ソース] で、コンピューターを接続しているソースを設定します。









コンピューター側の描画機能を使えるようになります。

インジケータの見方

















































 : 点灯  : 点滅  : 消灯

□ 正常動作時のインジケータの状態

 : 本機の状態により異なる場合

オレンジ  	スタンバイ	 を押すと投写を開始します。
緑  	ウォームアップ中	 を押しても無効になります (約 30 秒)。
緑  	投写中	通常動作中です。

□ 異常 / 警告時のインジケータの状態

赤      	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
赤      	ファン異常 センサー異常	
赤      	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態 で待ち、電源プラグを コンセントから抜きます。	次の 2 点を確認してください。 ・壁際に設置しているときは場所を移動します。 ・エアフィルターの掃除または交換をします。
赤      	高温警告	
赤      	ランプ異常 / ランプ点灯失敗	次の 3 点を確認してください。 ・ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または表紙に記載の連絡先にご相談ください。 ・ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 ・エアフィルターを掃除します。
オレンジ      	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
赤      	オートアイリス異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
オレンジ      	障害物検知異常	次の 2 点を確認してください。 ・投写窓付近の障害物を取り除きます。 ・障害物がないときは、障害物検知センサーを掃除します。 ☎ 『取扱説明書』

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または表紙に記載の連絡先に修理を依頼してください。